あさがおぐみだより

尚徳福祉会日野保育園　2021年３月

3月

クラスで育てているヒヤシンスが開花して、甘い香りで春を感じるようになりました。「何色になるかな？」「見て、紫になってきたよ～！！」花の色に期待を込めて、お世話を楽しんでいます。園庭では、「ドッジボール」や「だるまさんがころんだ」などの集団遊びや、大縄で何回跳べるかを挑戦して、全身を思い切り動かして楽しんでいます。年長さんへのカウントダウンが始まりました！残りの一カ月を大いに楽しんでいきたいと思います。

なかよし散歩

前日から、「あしたはえんそく～♪」と呟きがもれる程、ワクワクしていました。当日は、用意して頂いた水筒を大切に抱え、幼児クラス全員での初めてのお散歩へ向かいました。公園ではリレーや宝探しを楽しみました。違うクラスのお友だちとグループになり、一緒に走ったり、手を繋いでお宝を探したり、満面の笑みで参加しました。そして、お宝と引き換えに手に入れたお菓子を大喜びでいただきました。年長さんと手を繋いで笑い声と会話が盛り上がる帰り道でした。

お別れ会

３月１９日（金）にはお別れ会があります。この会ではあさがお組が主体となって準備や会の進行をします。当日使うランチョンマット作りや室内装飾を、ひまわりさんに内緒で作っています。ひまわりさんが近くにいると、「しーっ！聞こえちゃうよ！！」とお互い教え合っています。また、「卒園を祝う会」で卒園児が胸につけるコサージュ作りは、フェルトを細く切ったり、巻いたり、指先を使って花の部分を広げたり、心を込めて作っていました。当日はみんなで楽しく過ごすことを楽しみにしています。

一年を振り返って

コロナウイルスによる緊急事態宣言から始まり、新しい生活様式で過ごした一年でした。元々「三密」は仏教用語で、「身密・口密・意密」「健康・自分の本当の気持ちを話す・正しい心を育てる」人間が幸せに生きるために最も大切だという教えだそうです。このことは、子どもを育てる私たち保育者、保護者に共通する願いでもあります。「食べている時はお話なしね！」「近づきすぎだよ。」本来だったら、子どもたちに掛ける言葉に相応しくないと思うことを伝えることもありました。しかし制限のある生活の中でも、子どもたちは状況に合わせて行動したり、自らが率先して感染予防に努めたりもしていました。友達と話し合って解決したり、やってみたいと意欲的になったり、お皿をピカピカにしたり、ぐんと成長しました。何より保護者の方々のご協力のおかげで、大きく体調を崩すことがなく、元気に園で生活することができました。感謝の気持ちでいっぱいです。至らないことがたくさんありましたが、ご協力・ご理解して頂き、本当にありがとうございました。